



世界農業遺産

徳島・剣山の傾斜地農耕システム
をめぐります

GIAHS
GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS



雑穀の魅力

～雑穀にみる地域振興の可能性～

2016. **7/15** 金 **13:30**～ (受付: 13:00～)

会場: 東祖谷歴史民俗資料館 2階ホール

参加費: 無料

13:00～受付

【第1部】

13:30～13:45 ごあいさつ 兼西 茂 (徳島剣山世界農業遺産推進協議会会長、つるぎ町長)
黒川 征一 (徳島剣山世界農業遺産推進協議会副会長、三好市長)

13:45～14:15 趣旨説明 内藤 直樹 (徳島大学 総合科学部 准教授)

14:15～14:45 基調講演①
「雑穀を取り巻く現状と産地での取り組みについて」
中西 学 (一般社団法人日本雑穀協会 理事・事務局長)

14:45～15:05 基調講演②
「徳島の雑穀～地域での活動を通じて見えてきたもの～」
横関 実香 (横関食糧工業株式会社 取締役/雑穀クリエイター)

15:05～15:15 休憩

【第2部】

15:15～16:00 パネルトーク
「雑穀を活かした地域づくり」
コーディネーター: 内藤 直樹 (徳島大学 総合科学部 准教授)
パネリスト: 講演者全員、杉平 美和 (祖谷雑穀生産組合 組合長)
宮地 敏明 (三好市役所 東祖谷支所 支所長)

【主催】徳島剣山世界農業遺産推進協議会

世界農業遺産とは、世界的に重要な農業システムを国連食糧農業機関 (FAO) が認定する仕組みです。にし阿波の山間部で暮らす人びとは、急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、様々な知恵や技術を培ってきました。また、こうした在来の知恵や技術に支えられた土地利用によって、美しい農村景観や生物多様性を育んできました。にし阿波地域の世界農業遺産認定をめざすにあたり、このシンポジウムでは当地域で独自に栽培されている「雑穀」をキーアイテムとした地域振興の可能性や課題について考えます。



アクセス

東祖谷歴史民俗資料館
徳島県三好市東祖谷京上14-3
【公共交通機関】 JR大歩危駅より四国交通バス久保行きへ乗って京上バス停下車すぐ
【車】 井川池田C→国道32号(高知方面)→県道45号→県道32号→国道439号(剣山方面)→会場

お問い合わせ

徳島県美馬郡つるぎ町真光字東浦1-3
徳島剣山世界農業遺産推進協議会 (つるぎ町役場商工観光課内)
TEL0883-62-3111(代) FAX0883-62-4944
syoukou@town.tokushima-tsurugitani.jp

雑穀の魅力

～雑穀にみる地域振興の可能性～

2016. **7/15** **金** 13:30～ (受付: 13:00～)

会場: **東祖谷歴史民俗資料館 2階ホール**
徳島県三好市東祖谷京上14-3

参加費: **無料**

古くは“ソラ”とよばれたにし阿波の山間部で暮らす人びとは、ときには斜度30度以上にもなる急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、驚くほど理にかなった工夫を凝らしてきました。地域の人々が培ってきた農業や土地利用にかかわるユニークな知識・技術・制度・価値観や信仰の体系は、この地域特有の美しい景観や多種多様な動植物を育ててきました。当地域で独自に栽培されてきた「雑穀」もそれらを構成するひとつです。近年では「雑穀」は健康食として世間から注目を集めています。このシンポジウムでは、「雑穀」をキーワードとした地域振興の可能性や課題について考えます。



内藤 直樹

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。博士（地域研究）。国立民族博物館期間研究員などを経て、現職。ケニア・ウガンダ・南スーダン・ソマリアの牧畜社会を対象に、地域で培われてきた知恵、わざ、価値観等にそくした開発・平和構築・難民支援のあり方に関する研修を行ってきた。著書に、『社会的包摂／排除の人類学：開発・難民・福祉』（共著）、『メディアのフィールドワーク』（共著）などがある。

(徳島大学 総合科学部 准教授)



中西 学

健康な身体をつかさどる免疫関係・自然食品企業勤務を経て、平成18年10月より日本雑穀協会事務局長として雑穀の普及・啓発活動に取り組む。協会では、雑穀の知識やスキルを身につけた人材を育成する資格制度を運営し、約2,700名の資格取得者を輩出。協力して雑穀の普及活動や雑穀産地との情報交流等を行っている。また、協会役員との共著「雑穀入門」（日本食糧新聞社刊）は、雑穀に携わる企業等で広く活用されている。

(一般社団法人日本雑穀協会 理事・事務局長)



横関 実香

2005年に雑穀普及の為にブランド「ミレット」を社内に立ち上げ、「徳島は雑穀生産地、消費地であるということをもっと知ってもらいたい」と活動している。地元タウン雑誌、TVでのメニュー紹介、徳島市中央公民館親子雑穀料理講座、エミールカルチャー&マルチスペース雑穀料理教室講師など幅広い活動を行なっている。日本雑穀アワード審査員。AWAおんなあきんど塾主催「第2回きらめく女性大賞」徳島新聞社賞受賞。

(横関食糧工業株式会社 取締役 / 雑穀クリエイター)



杉平 美和

東祖谷出身。37年間林業関係の仕事に携わる。絶滅の危機に瀕している祖谷地方で栽培されている在来種の雑穀の保存と伝承の推進、食文化の継承とブランド品作り、傾斜地農耕システム等の伝承を共同で行うため、平成28年4月に祖谷雑穀生産組合を設立、組合長に就任する。現在活動をスタートしたばかり。

(祖谷雑穀生産組合 組合長)



宮地 敏明

平成27年4月から三好市役所東祖谷支所長として勤務。にし阿波地域の世界農業遺産をめざす取り組みに興味を持ち、故郷祖谷で古くから長きに渡り栽培されてきた雑穀を次世代に継承するための活動を始める。自らも家族とともに傾斜地農耕システムにより2反5畝の畑を耕作している。

(三好市役所 東祖谷支所 支所長)



GLOBALY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS
世界農業遺産
GIAHS